

2017年度全国高校野球OBクラブ連合理事会（第3回）議事録

日 時： 平成29年10月21日（土）13:00～15:00

場 所： 神戸大学国際人間科学部 応接室

出席者： 宝槻、高山、小川、前崎、北野、長ヶ原

欠席者： 戒能

議 題：

<報告事項>

1) マスターズ甲子園2017事業報告（資料1）

<審議事項>

2) 2018-2019シリーズ（資料2）

3) 2020年以降のシリーズ計画案について（資料3）

4) 次期（2018-2019）理事選出案について（資料4）

5) その他

議事録

13:00より長ヶ原理事長のあいさつにより開会。理事長より理事会の趣旨および議題について説明が行われた。

議題1) マスターズ甲子園2017事業報告

マスターズ甲子園2017（資料1-1）

理事長より資料1-1のマスターズ甲子園2017大会プログラムの説明が行われた。全国高校野球OBクラブ連合の新規加盟都道府県と加盟OB校については、現段階で40都道府県、618校に達したと報告された。

全国高校野球OBクラブ連合2017年度途中決算報告（資料1-2）

途中決算報告については、資料1-3に基づき、各経費の各収入状況が述べられた。全国高校野球OBクラブ連合加盟費が460,000円に加え、年会費が4,990,000円となり、合計収入額が5,450,000円の見込みになること、支出に関しては、各経費に貯蓄費460,000円が加わり、支出合計が5,450,000円の見込みとなることが報告された。

議題2) 2018-2019シリーズ（資料2）

2018-2019シリーズ（申請枠）（資料2-1）

理事長より資料2-1に基づき、2018-2019シリーズ申請枠申請書の各都道府県リーグからの提出状況から2018年大会は16枠の申請枠に対して22リーグの申請があり、新規申請枠の4リーグ（長野・愛知・北海道・和歌山）については2018本大会出場が確実になり、12枠は各リーグ獲得票数による抽選が行われることが報告された。抽選方法に関して、①新規加盟リーグの抽選は、1塁側の6つの票から抽選をすることで、新規加盟リーグ同士の対戦を避ける案が出された。②新規加盟リ

リーグの4枠を除いた、残りの12枠の抽選については、以前の抽選方法とは異なり、当たり票を引いたリーグは、「本大会の日程」・「試合」「塁側」の選択が可能になる方法について提案があり、理事会全員をもって承認された。抽選票基準については、資料2-1に記載の例年通り実施されることになった。

マスターズ甲子園2018本大会計画（資料2-2）

理事長より資料2-2の来年度の大会日程において説明があり、西宮ハーフマラソンとの兼ね合いも含め、11月2週目（土・日）の開催が濃厚だと報告された。

全国高校野球OBクラブ連合2018年度予算案（資料2-3）

理事長より資料2-3の2018年度予算案について報告があり、2017年度途中決算報告からの変更点として、2018年度予算案には、新規リーグ加盟校（33チーム）分の加盟費を年会費に上乗せさせる案が出され、協議の結果、了承された。

議題3）マスターズ甲子園2020以降のシリーズについて（資料3）

理事長より資料3-1・2の案に基づいた説明がされ、2020年度以降のシリーズ計画案について報告された。新規シリーズ案の一つとして、高山理事より次期シリーズ案の資料に基づき説明が行われ、1試合あたりの時間を減らし、1日当たりの大会数を増やす2年シリーズの案、ブロック枠を導入する3年シリーズの案が提案された。理事長より、マスターズ甲子園大会事務局案として、3年シリーズの最後の年度にブロック枠を導入することで、3年間で2回都道府県リーグ代表として本大会に出場することができ、選手のモチベーションにも繋がるのではないかと報告された。各理事より加盟状況や加盟校立ち上げへの動向を考慮し、ブロック枠導入時には、全国高校野球OBクラブ連合への「加盟費」「年会費」の適応についても今後、検討していくことで一致した。理事長より、今後のシリーズ案については、理事会での協議の結果、資料3-2に基づく方向性で了承された。また、ブロック予選枠を導入する場合のブロック改変については、今後の加盟状況を考慮し、来年度の総会にて最終決定することが確認された。

議題4）次期、理事選出案について（資料4）

役員・理事選出案（資料4-1）

全国高校野球OBクラブ連合連合定款（資料4-2）

全国高校野球OBクラブ連合施行細則（資料4-3）

理事長より資料4-1の説明が行われ、連合定款・施行細則から全国高校野球OBクラブ連合役員・理事の選定の説明がされ、各ブロックでの協議の結果、資料4-1の役員・理事選出案を総会に提出することになった。

議題5）その他

①ブロック会議の実施について

各理事より今後のブロック単位での大会運営強化のために、ブロック内での情報共有や連携を目的とするブロック会議の必要性について協議された。

②故人のガイドブック記載について

理事長より本年度大会ガイドブックに、故人を掲載する件については報告された。ガイドブックへの名前・顔写真の記載や本大会での実施事業を総会にて、報告することが確認された。

③高校野球100回記念大会について

理事長より、夏の高校野球100記念大会に関する議題の紹介があり、全国各地の地方予選大会での100周年記念事業について提案があった。前崎理事より、全国高校野球OBクラブ連合として支援するならば、中学生以下の未来の高校球児に向けた事業が現実的だと報告があった。

協議の結果、本大会のサポートについては朝日新聞社からの提案を待ち、予選大会のキャッチボールについては、理事長を中心とし、各都道府県幹事及び高野連と議論していく必要があることが報告された。

以上をもって議案の審議が終了し、理事長により15:20に散会。